

広報担当が取材に行きます。あなたの身近にあるホットで楽しい話題やイベントなどの情報をお待ちしています。カシャ!!
秘書広報課 ☎0040 ✉koho@city.makinohara.lg.jp



開花した桜の花を見て楽しむ人たち（3月2日撮影）

ピンク色鮮やかに 河津桜開花

■坂口谷川沿いの河津桜が開花

坂口谷川（坂部区）沿いの約60本の河津桜が、3月上旬に見頃を迎えました。寒波の影響で例年より開花が2週間ほど遅れましたが、見頃を迎えた川沿いの道には多くの人々が訪れ、鮮やかな桜の花を堪能しました。

2月22日と23日には、地元住民による「坂口谷川河津桜まつり2025」がハイナン農協みかん選果場で開催されました。会場では軽トラやキッチンカーが出店し地場産品や飲食物の販売などが行われ、多くの来場者でにぎわいました。

歌と笑いで幸せな空間をお届け

■男と女のフォーラム

「男と女のフォーラム」が2月22日、い〜らで開催されました。

市女性団体連絡協議会主催で、家庭生活や地域社会の向上発展を目的に開催。公演前半では、歌手・タレントの若波理恵氏が昭和歌謡曲を披露し、観客席を回りながら握手や写真撮影が行われました。後半は、ものまねタレントのゆうぞう氏がものまねパフォーマンスを披露。約350人の観客から大きな拍手と笑いが巻き起こり、大いに盛り上がりました。



パフォーマンスする若波氏とゆうぞう氏



日本舞踊を披露する受講生

学びや交流の祭典 にぎやかに

■第2回 まきのはら塾発表会「まき塾フェス」

第2回 まきのはら塾発表会「まき塾フェス」が2月8日と9日に、い〜らで開催されました。

同塾は、昨年度から開講したもので、「まなべるまきのはら」をテーマに、「まなびかがやくひとづくり、まちづくり」を目的としています。当日は、キッズダンスや大正琴、太極拳、ヨガなどの舞台発表や、生花、書道、郷土史などの展示や茶道の体験も行われました。

令和7年度は、4月から全218講座が開講されます。

豊作を願い厳かに舞う

■国指定重要無形民俗文化財「蛭ヶ谷の田遊び」

国指定重要無形民俗文化財「蛭ヶ谷の田遊び」が2月8日、蛭児神社（中里区）で行われました。

神事では、五穀豊穡と子孫繁栄を願い、かがり火の前で「ほた引き」「本刀振り」などの儀式や「田打ち」「田植え」「稲刈り」など農作業の様子を模した計17演目が、約4時間かけて奉納されました。氏子の成年男子が語りと所作のみで伝統の舞を披露すると、見物客は静かに見守りました。

最後には「ほた小僧」と呼ばれる杉の束で作られた人形が本殿脇の桜の木に結わえられました。



結界の作法である「長本刀振り」で天地と四方の悪霊を追放

来館感謝 「七」千人達成

■市史料館特別展来館7千人達成セレモニー

現在市史料館で開催中の田沼意次に関する特別展などへの来館者数が7千人を達成したことを記念し、3月1日に記念セレモニーを開催しました。

展示は1月26日から開催しており（関連2～3頁）、今回の節目は田沼家家紋の「七曜紋」にちなんだもの。7千人目の来館者となった坂口絵美さんと七海さん親子（菅山区）で、杉本市長から記念品が贈られました。絵美さんは「まさか自分が7千人目になるとは思わなかった。展示を見て意次侯をもっと勉強したい」と話しました。



7千人目の来館者となった絵美さん、七海さん



FDAブースでは子どもの制服体験が好評

「富士山の日」に空港大にぎわい

■富士山静岡空港「富士山の日イベント」

昨年開港15周年を迎えた富士山静岡空港で、「富士山の日」に合わせたイベントが2月22日と23日に開催されました。

イベントでは、普段は入れない制限区域にて飛行機や特殊車両の見学会が行われ、抽選に当たった人たちが試乗や記念撮影などで楽しみました。

また、航空自衛隊浜松基地の中等練習機「T4」と早期警戒管制機「AWACS」のデモンストレーション飛行や、飛行機などの各航空教室なども行われ、多くの家族連れなどでにぎわいました。

寒さに負けず色鮮やかな「春告草」開花

■相良梅園が開園

2月5日から開園している相良梅園（片浜区）の開花は、長期間の寒波により例年より2週間ほど遅くなり、2月下旬に見頃を迎えました。

訪れた観光客は、山の起伏を生かした約1.5ヘクタールの敷地に咲く寒紅梅や白加賀、南高、しだれ梅など20品種、約700本の色鮮やかな梅の花を楽しみました。

また、自家製の梅干しをはじめ、地元産の採れたて大根や芋切り干し、焼き芋などの地場産品も販売されました。



咲き始めた梅の花を愛でる子ども（2月23日撮影）



梅の葉を口にくわえ、御神様を一幡神社へと運ぶ行列

御神体を守り、豊作を願う「古例祭」

■県指定無形民俗文化財「一幡神社の御神事」

一幡神社（菅山地区）に伝わる県指定無形民俗文化財「御神事」が、2月8日と9日に行われました。

この神事は毎年2月上旬に行われ、平安時代が起源とされる長い歴史をもつ古例祭。二十八名と呼ばれる地元の特定の家が主催し、御神体の「御神様」を開き、今年の吉凶を占います。

また、御神の舞と呼ばれる神楽も行われ、最後には今年おまつりする御神様が作られ、翌年の豊作を願いました。